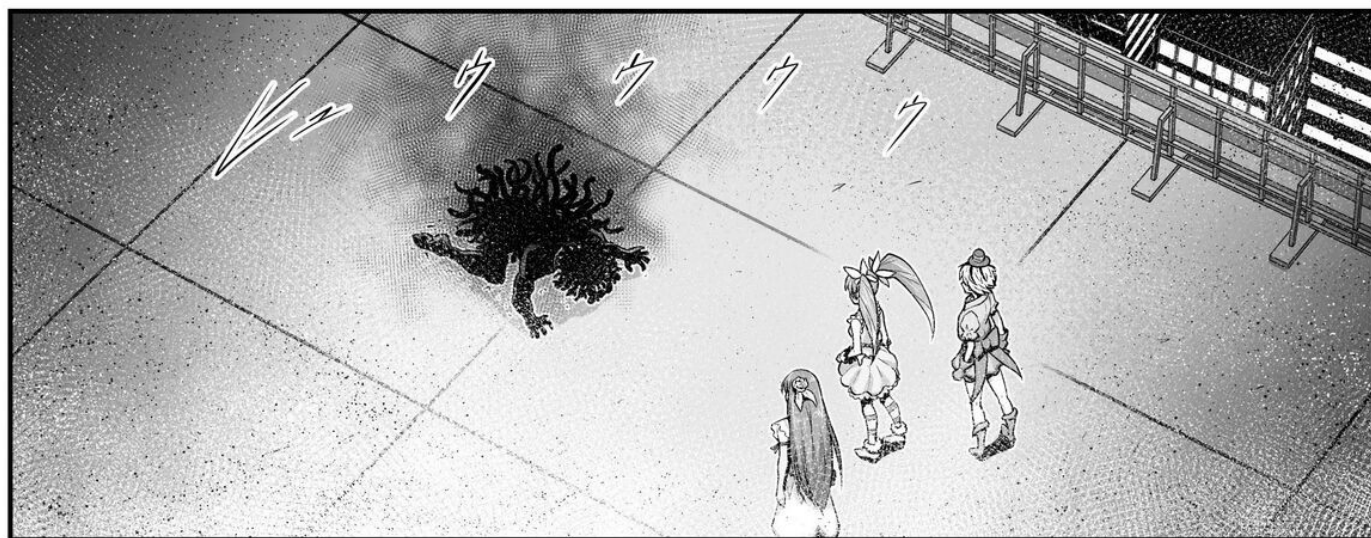


——ある日突然
人の心が
世界に干渉する

人の負の感情からは
闇の魔物が生まれ
人々を襲い

逆に強い光の心を持つ
限られた少女には
闇を払う正義の力が
与えられた

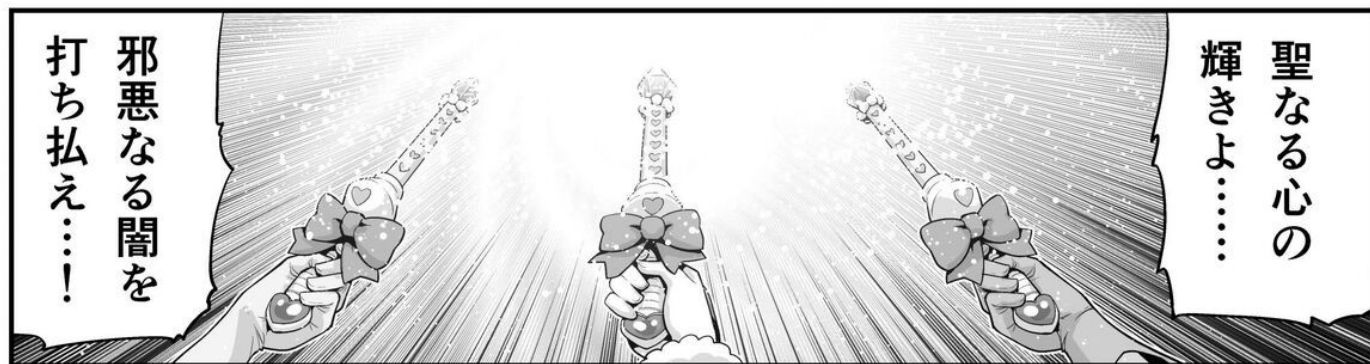


ハシ
ツイン
!!

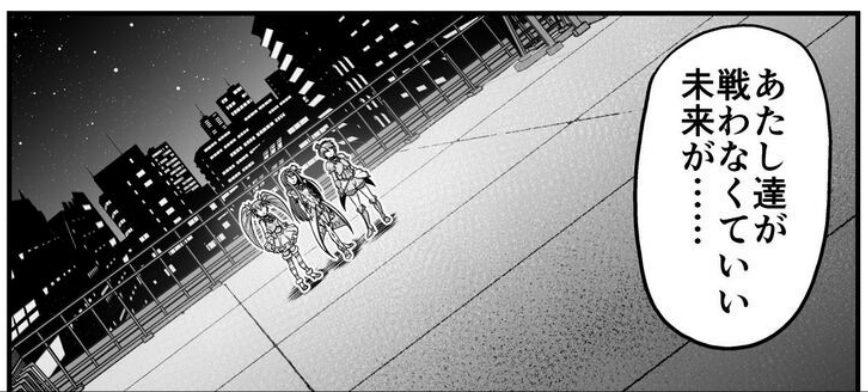
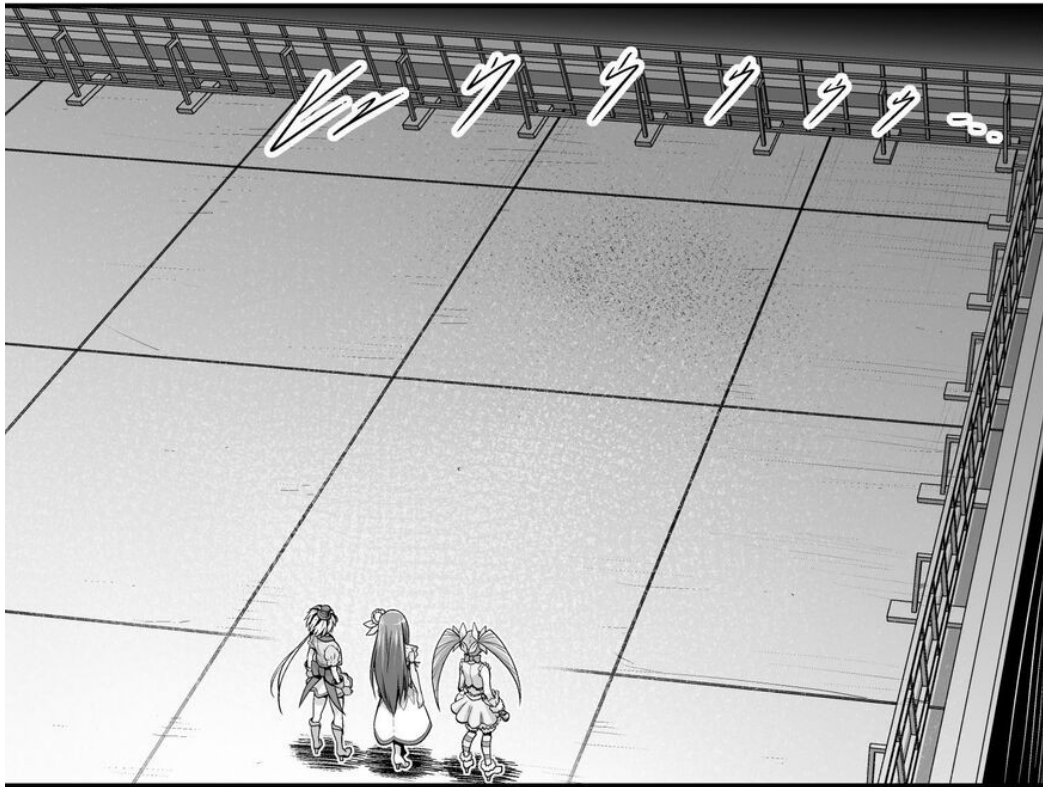












とりあえず今は
勝利を喜び
ましよう

そうだね

みんな
アイヌ買って
帰ろ！



……あれ？
さっきの傷跡が
どこにもない？

痛みはあった
のに……
気のせい
かしら？



エリナ早く
行こうよー

ええ
今行くわ



==第一章==

{西條エリナ}







——私が
シャイン
ハーツに
なってから

もう半年が
経つ



半年前
闇の魔物に
襲われていた
子供を見て
助けたいと
強く願った
心の光により
私は変身し

その後同じ時期に
シャインハーツに
変身した
アサヒ・ユウとも
出会った



きっと私は世界を守る為に
選ばれたのだと思った



エリナよ

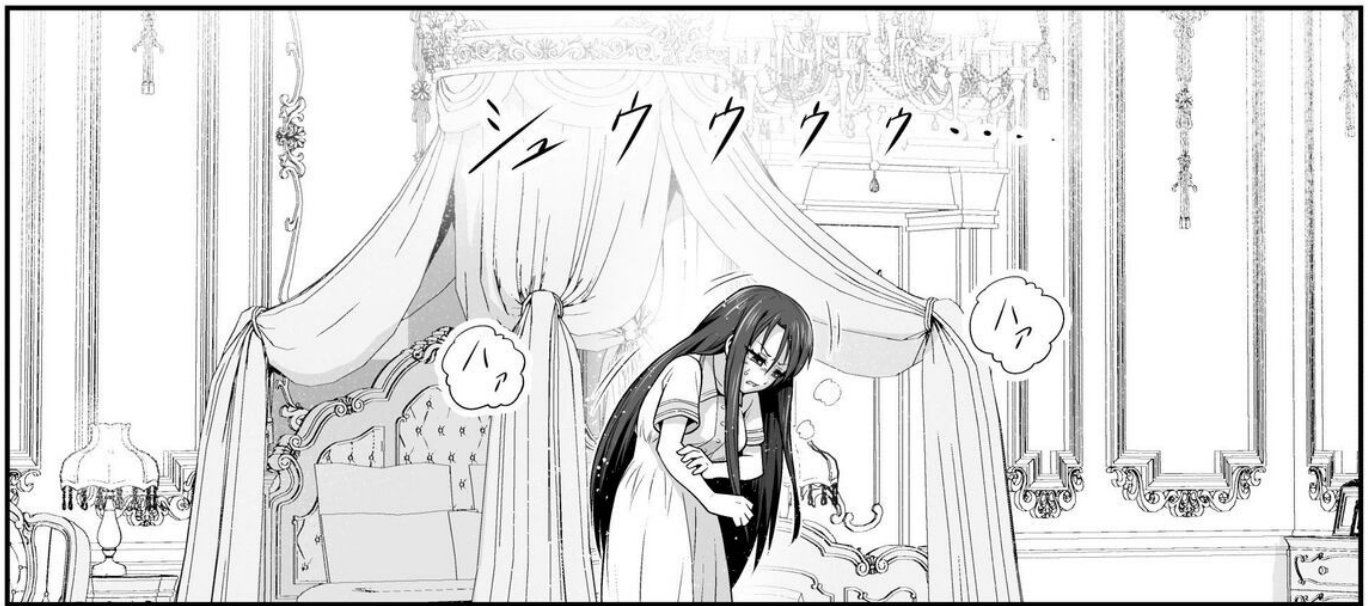
全国模試で
6位とは何事だ







だからそんな小さな闇の力で私の身体を奪うのは無理でしょうし	最初は闇の力が小さすぎて気づけなかったけど 最近はあるあなたの力が回復したからか違和感を感じていたわ	やはりあなただったのねダーゲル あの時私の腕に身体の一部を寄生させたのでしょうか？
--------------------------------------	--	---





ま
まさか
身体を
分裂させて
囀に――



ククッ
かかった
な……



あがっ



お前が光の力を
左手に
集中させた事で
脳が一時的に
無防備になった！

あつあつ……あつ頭の中つ
ぐつ……グチャグチャにつ
されつ……ああつ……
あつあつああつあつ……！！

あが



俺は待っていた！
少しずつ細胞と
闇の力を回復
させながら……

この
チャンスを！！





その
結果が
これだ!!

お前は
無様に
俺に身体を
乗っ取られ

こうして凌辱
されている!!
身体も!
心も全てな!!

グダッ

グダッ

グダッ
ズボッ



ほらっ

グダッ

中出しされて
イッてしまえ!



あああつ
いつ意識
がっ...

ズボッ

とっ……
飛んじやううっ



どうだ男のチ○ポは!?
媚薬を分泌してるから
処女でも感じるだろ!?

ズボッ

さっ…さっきまで
痛くて堪らな
かったのにっ…

ズボッ

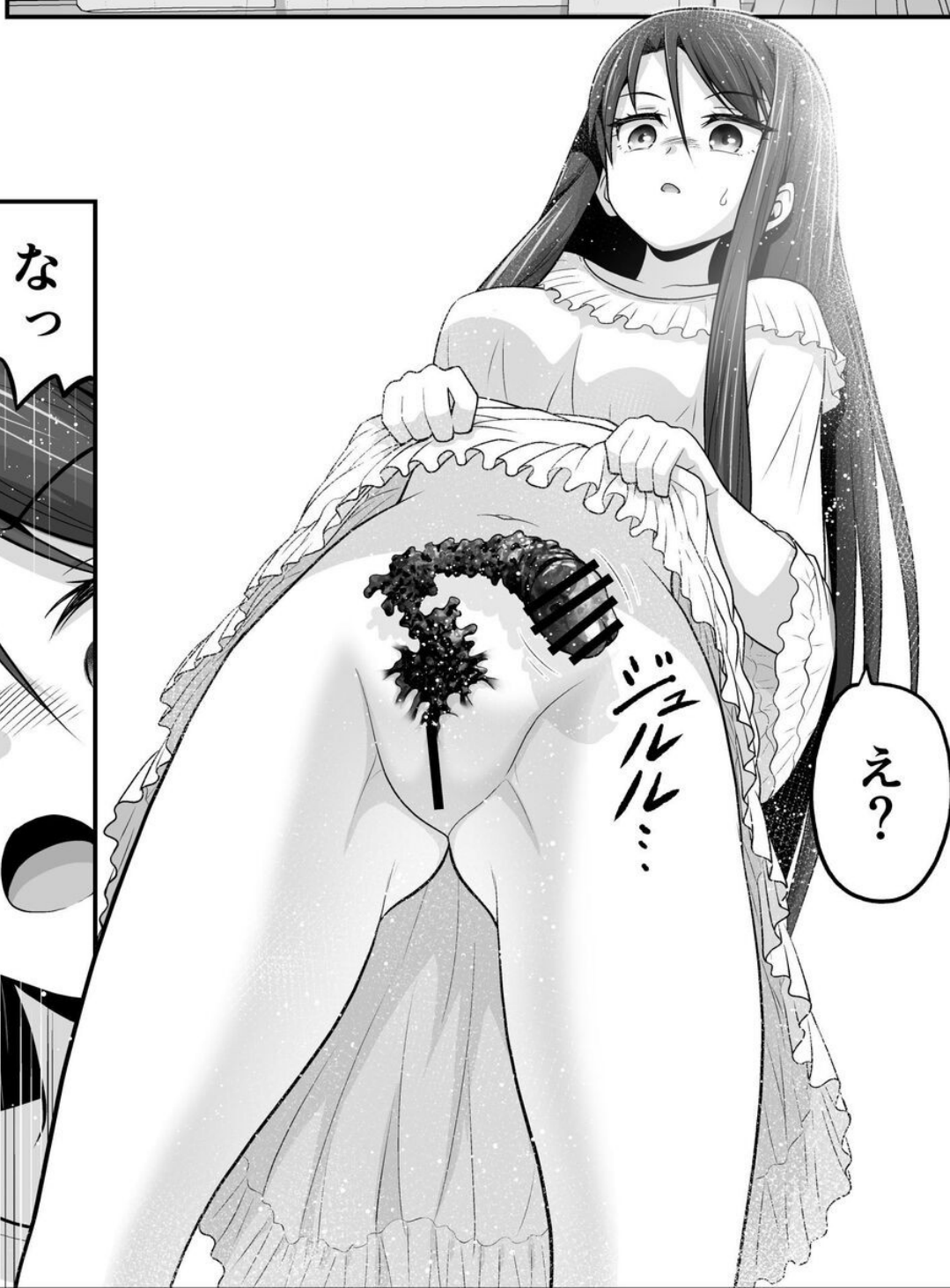
なっ……なんで……
こんなっ……気持ち
よくっ……なって……



……あれ？
いつの間に
寝ていたの
かしら……

……何か
忘れている
ような……

ん？
下半身に
違和感が……



なっ
どうして
触手が
ここに……!!

え？

ジュルル……

触手はこうして
ちゃんとオマ○コの中に
入れておかないと

外に出して
おくななんて
考えられない
わ……！



私は完璧な人間に……
『完璧な女』にならなければ
いけない

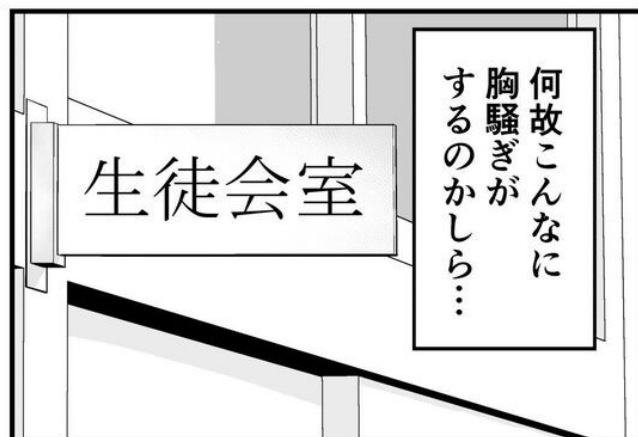


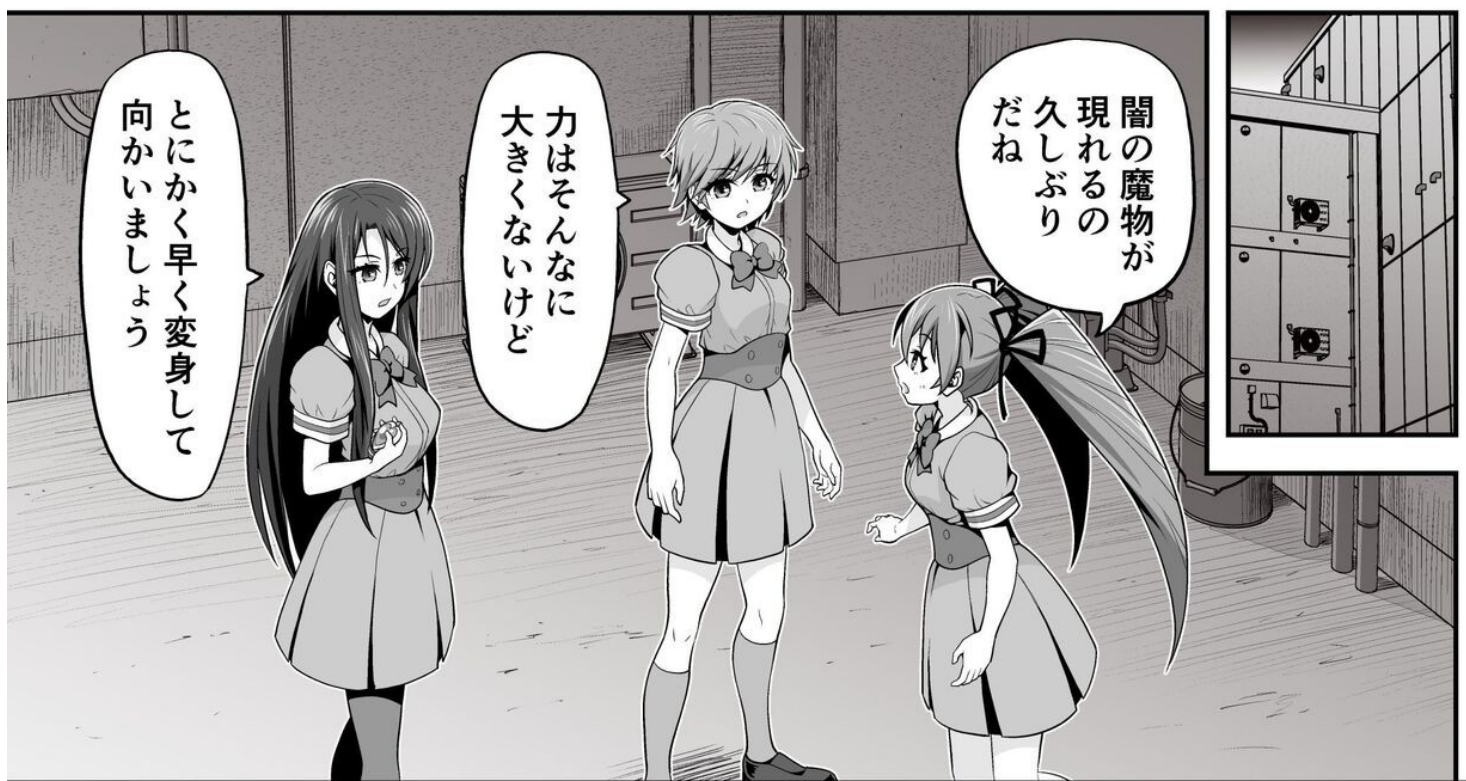
ククッ



…… who
I'll stand above
others in the futur
So don't lose
to anyone.
You have to
become a perfect
person.

——よし
完璧な英訳だ





だから平和を
脅かす闇の魔物は
必ず倒す！

シャインフローズン
輝光凍結！！

それが私の目指す
完璧な正義よ！





大丈夫
エリナ!?

ふう……
間に合った



シャインフラッシュ
輝光閃!!



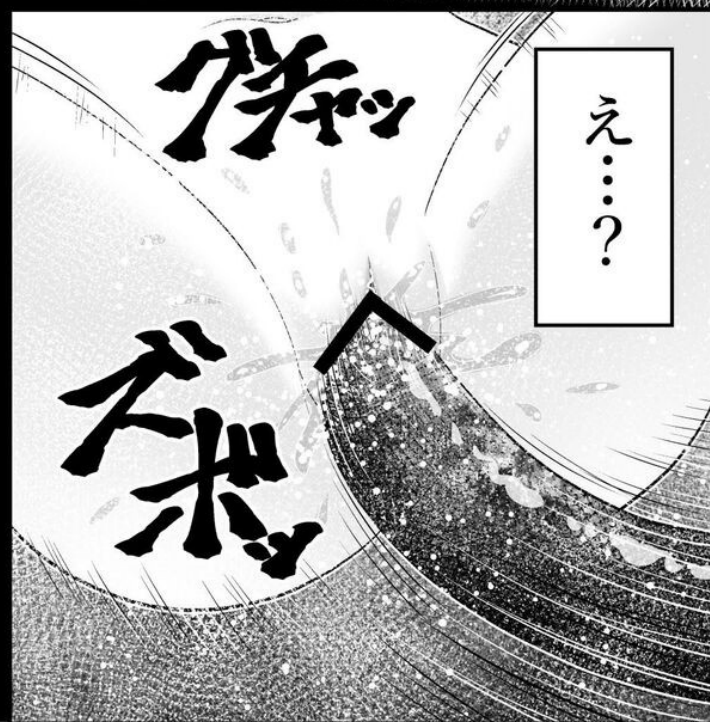
チツ……



え ええ……
ごめんなさい
油断して
しまつて

わ 私……
さっきは一体
何を考えて……

闇の魔物も
倒せたし
無事で良かったよ



え……?

完璧な人間に……

私は
完璧な人間に
なるのだから

もっとしつかり
しないと……



——最近なんだか
触手への抵抗感が
なくなってきた

そうよね…
私が今
している事は
完璧な女に
なる為に
必要な事……



だからもつと触手に
体中を犯してもらって
淫らな女にならないと

触手チ○ポと
快楽の事だけ
考えるような
卑猥な雌に……

ああ……私……
水泳の授業中に
オナニーしてる
……！

んあ

ア

んあ

ア

もし……
もし誰かに
見られたら
……！

はあ
あ

あ

んあ

チキッ

グビュッ

チキッ

じゃあ残りは
自由時間よ

わあ
あ





んお
おつ!!

しよっ触手が
お尻の穴に
もおつ!!!



泳がないの
エリナ?

ゆっ
ユウ!

キャ...



どっ
どしたの
エリナ!?

にっ二本の
触手がっ!!
オマ○コと
お尻の穴を
おつ!!

同時に出入り
してえっ!!

なっ中でっ
擦れ合ってっ
んあああっ!!



えっ
エリナ!?

あああっつ
もっもう私っ
あっああ
ああっ!!!



気持ひ
いいっ!!

しゅっ
しゅごいい
っ!!



口にまで
っ……！

ああっ……！
そんなっ……



んはああっ……！
私また今夜も
触手に犯して
もらってる……！

もう何日も
毎晩毎晩……

オマ○コも
ア○ルも
ズボズボ
気持ちいい
のっ……！



……触手
チ○ポお

美味ひ
いい



触手チ○ポ
美味しいい！



……もっと……
私の口い……

……触手
チ○ポ……

……ん
はあ……

ジュボ
ジュボ
ひてえ……

……
ロマ○コお

——いつしか私は
下着なしで生活する
ようになった……

授業中も食事中も
ずっと隠れて
オナニーして……

ばれそうになるたび
凄く興奮しながら……



……ああ……
そして今も
ずっと……

だっ……
あはは
何それ？

ずっと……
二人の親友の
後ろでオナニー
してる……っ



もし
今二人が
後ろを
振り返っ
たら……

ああっ
私……
私……
……!!

——ねえ
エリナは
どう
思う？









その子は
冗談で持って
きたとか言って
ましたが…



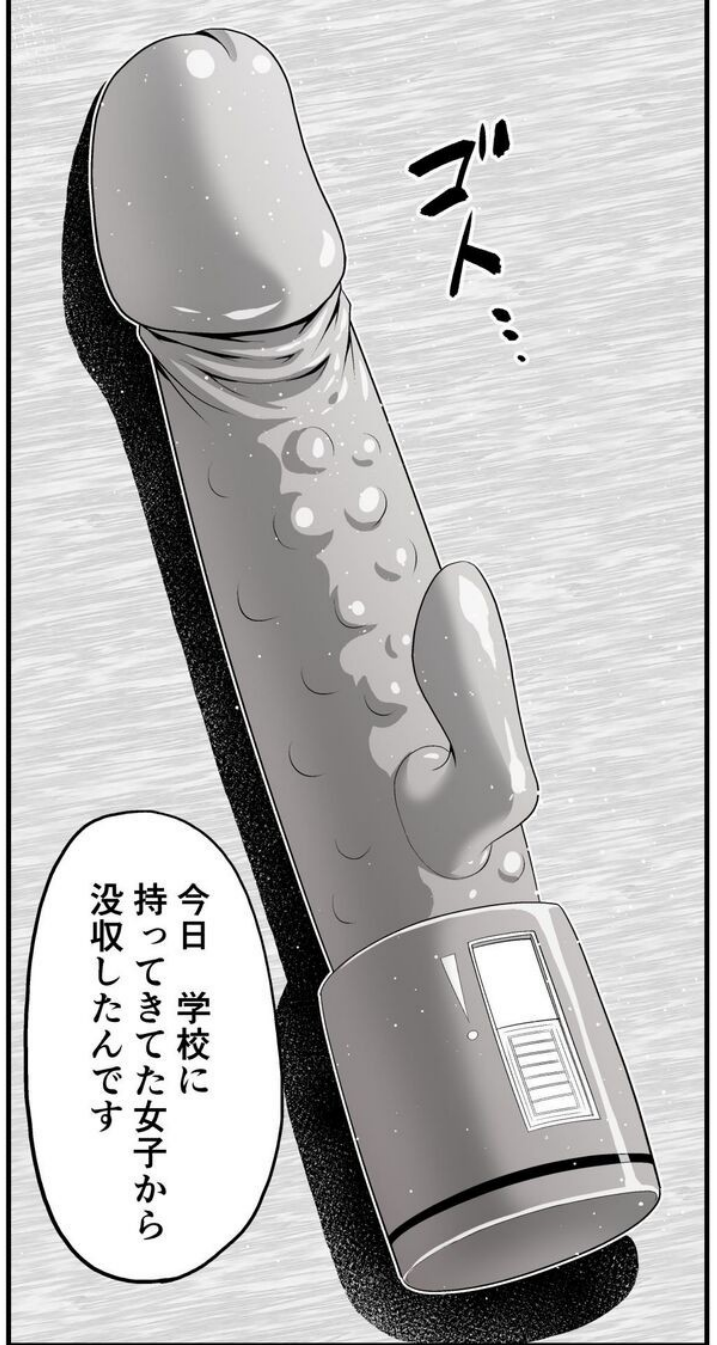
私 本当に
許せなくて！

神聖な学び舎を
何だと思っ
てるんだって…!!



でも もしこれを
先生に見せたら
あの子が処罰される
のではないかと
思っ…

それで どうするべきか
先輩に相談しよう
と



今日 学校に
持ってきてた女子から
没収したんです



はい ありがとう
ございました!!
エリナ先輩に
相談して本当に
良かったです!



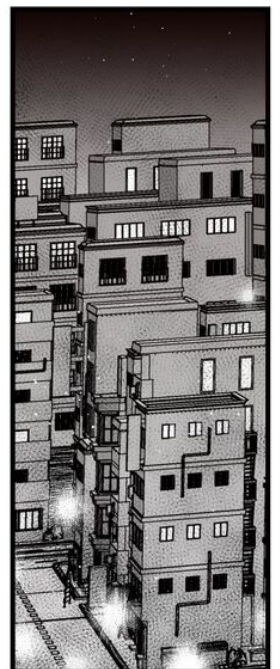
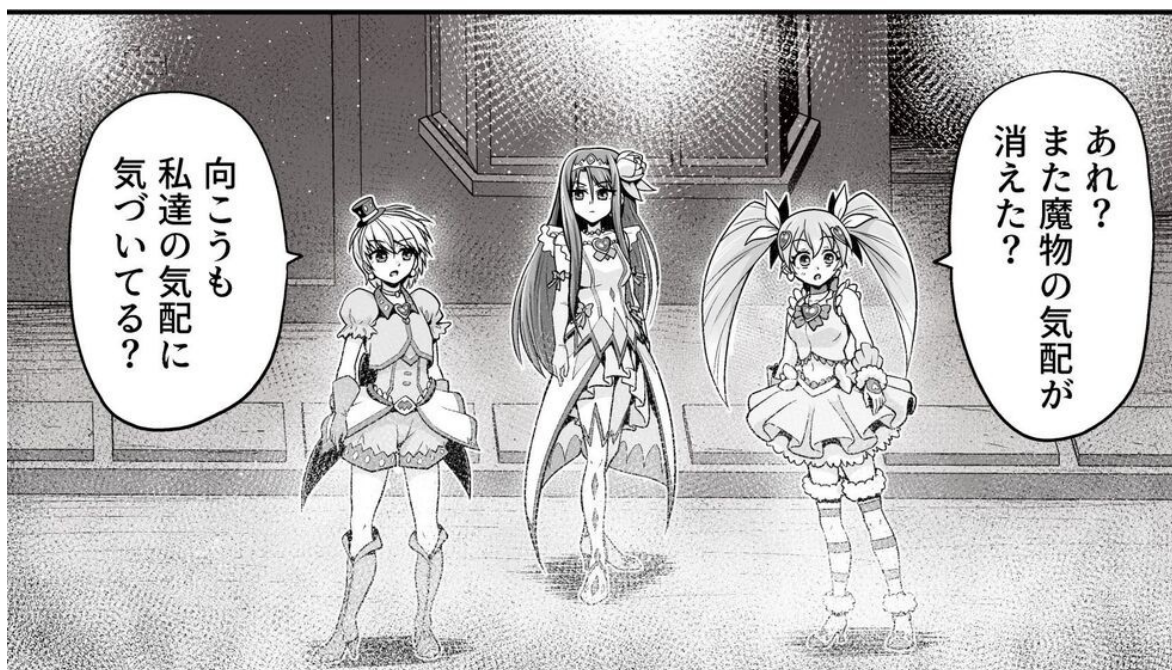
……これは
私が本人に
返しておくわ

私は片付けが
残っているから
先に帰りなさい



……わ
分かった
わ……
後日私が
本人と話して
しっかりと
反省させるわ

すいません
エリナ先輩の手を
煩わせてしまっ…!





気を
つけて
ね……

……えっと……
……その……



……
なに？



エリナ！



……
なんだか

……
どうか
したの？

タタタタ



ええ
ユウとアサヒも
気をつけて

うん……



エリナが
このまま

どこか遠くへ
行っちゃうような
気がして……



……
だって……

でも……
私はこの時をずっと
待っていた気がする……

タタ
タタ
タタ



闇の魔物は
人類の敵なのに……

……何故私はこんなに
胸が高鳴っているの
かしら……？

タタ
タタ
タタ
タタ



それに…



今もこうして一人で
会いに来ているし

何故か闇の魔物の
場所が正確に分かり



ああ……
でも……
闇の魔物を……
あの触手を……
見てると……



……あれ？
なんで私は
こんな事を……

ユウとアサヒに
感知されないように
バリアまで貼ってるし



私はあ……！

触手チ○ポを
見てると
私は……

ああ……
触手チ○ポが
私の中に……！

……い
いや……

私……

……このまま
じゃ……

んはあ ああ ああ
っ ああ ああ っ!!



あ あ っ 私 い っ!
正義の味方
なの に い っ!

ズッ

ほあ
あ

やみのまもの
人類の敵の触手チ○ポにっ
オマ○コ突かれてるうっ!!

ズッ

んはあ っ 気持ち
いい っ!!

触手チ○ポ
最高 おお
お お っ っ!!

あ
あ

んほ
あ

ああ ああ っ!!
も っ と お っ!!
も っ と 突 っ っ
く ら は い っ
触手チ○ポ様
あ あ っ!!

んほ
あ

ズッ

ズッ

ああ ああ っ 私 っ
敵に媚びてるっ!!
雌豚みたいに敵に
触手チ○ポねだってるっ!!

あ
あ

ああ ああ っ!

なんて っ

.....

なんて興奮する
の お お っ.....!!

あ
あ





シャイン
チエンジ!!
私の身体を凌辱し
水原さんまで…!!

カッ



ノッ ノッ ノッ



絶対に許さないわ
ダーゲル!!

私の身体から
完全に出たのは
失敗だった
わね!

もう私を
操るのは
不可能よ!!



クク……
もうその
必要はない

やる事はもう
全て済ませた



全て済ませ
た……?

どうした?
かかって
こないのか?



っ!行くわよ
ダーゲル!!

シャインステッキ
輝光魔杖!

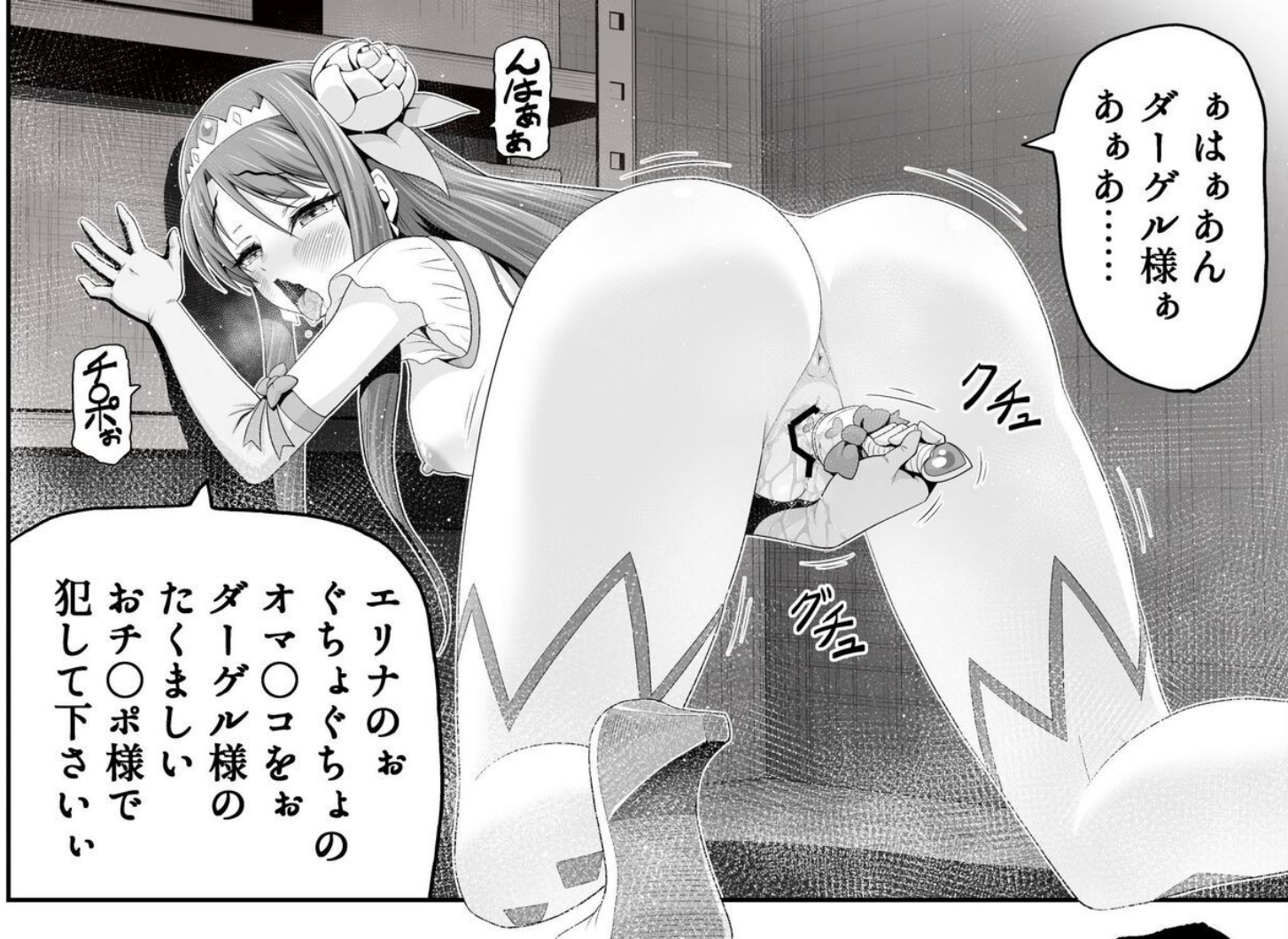


この男だけは
絶対に許さない!!
世界の為にも……!
私自身の為にも……!!

必ずこの男
を……!!

シャインパージ
輝光脱衣!!







……ああ……あ……
……にや……にやに……
い……いまの……？
あ……アタマのナカ
……まっシロに……
……なっへ……

ふ……ふわふわで……
気持ひ……よくへ……
……へああ……あ……



……だっダメっ……
せ……正義がっ……
あっ悪にっ……
屈して……はっ……！

クク……中々
耐えるな



はあああああつ！！
チ○ポ突かれて
アタマに電撃
走るうっ！！

きっ気持ひいいいっ！！
気持ひいいいいいっ……！！



だが
これは
どうだ？

ズ
ボ
ッ

んほおおおおつ
っおおおおつ!!

ああっア○ルにもお
おおおおおつ!!



まだ耐え
られる
か？

ズ
ボ
ッ

ムリいつ!!
ムリれすう
ううつ!!

オマ○コとア○ルつ
同時にイキすぎてっ
死んじやうほどっ
きもひいいろおつ!!



気持ちいいか
エリナ？

ズ
ボ
ッ

んはああっ!!
気持ちいい!!
きもひいいの
おおおつ!!

俺がお前の身体を
変えたおかげで
この快楽を
得られるのだ

んほ

おお

だっ……

ダーゲルがつ

私の身体を

変えたっ……

おかげっ……!

グ
ボ
ッ

ち○ポ
しゅごい
いいいつ!!
最高のお
おおつ!!

ズ
ボ
ッ

ああっ

あああ

あああ

あああ

あああ

ありがとうござい
ましゅうううっ!!

ククッ
まさか礼を
言うのか?

俺はお前の身体を
無理やり改造
したんだぞ?

んあ あっだつてえっ
こんな気持ちいい
からあああっ……!!



そうっ…そうだったのおっ!
これまで色々されたけどっ!

本当は全部
気持ちよかったのおおっ!



ククッそうだ……
お前が気持ち良いのは
全て俺のおかげだ…
奴隷のように俺を崇め
感謝しろ雌豚

クハハハッここまで
俺の言いなりとは
お前は最低の
雌豚奴隷だな!

はあああっ!!
そうれすっ!!

エリナは最低の
雌豚奴隷れすうっ!!

んおおおっ!!
エリナを気持ちよく
していただきいっ!!

ありがとうございまふ
ダーゲルひやまああっ!!





ご主人様のチ○ポの
為なら何でもする
最低の『雌豚奴隷』

…それこそが
お前の目指す
『完璧な女』だ



わつわたしの目指す
完璧な女はっ……!!

ご主人様の
雌豚奴隷
いいっ!!

雌豚奴隷だった
のおっ……!!

エリナよ……
お前が望むなら
俺の雌豚奴隷に
してやる

ただし



ユウと
アサヒを
裏切る
ならな



忠誠を誓うなら
その触手チ○ポに
口奉仕しろ

ユウとアサヒ……
シャインハーツ
として共に
過ごしてきた
大切な親友……

そんな
親友達を
裏切る
なんて
……

できるに決まっています…♡



クク…まさか裏切るのか？大切な親友を

あはあつもひろん裏切りまふうっ♡



ご主人様の雌奴隷がつ♡私のなりたい『完璧な女』れすからあつ…♡

クハハッ成る程…今のお前にとって他の事はもうどうでもいいんだな



そろそろ膣内に出してやろう

はあああつ♡出ひてくらはいいっ♡

ご主人しゃまのザーメンっ♡エリナの雌豚マ○コにいっ♡

んはああつご主人ひやまっえっエリナはっもうっっ…♡

イッてしまえ雌豚奴隷エリナ!!





クク……『完璧な自分』に
生まれ変わった気分はどうだ？
シャインハーツ……いや

『ダークハーツ』
エレナよ……

はい……♡
ご主人様の
雌奴隷としての
悦びと幸福が
全てを満たし……

またすぐに
イッてしまい
そうです……♡

改めて私……
ダークハーツ
エレナは……

ご主人様の
忠実な
雌奴隷として
永遠の忠誠を
誓います……♡

こうして
私は

完璧な女
雌奴隷に
生まれ
変わった
……♡



雌豚奴隷
エリナ:

んじゅ
いっ♡

フチュ♡

んじゅ
いっ♡

はい♡
もちろんでふ♡

んじゅ
いっ♡

アサヒ
親友を♡

ご主人様に
捧げます♡

第二章へ
続く...

～～あ と が き～～

どうも、サークル『エクリプス』のコーアンです。

この度は『魔法少女シャインハーツ第一章 ～西條エリナ～』
をお買い上げいただきありがとうございます。

漫画作品としては完全版を除くと
前作『星アソビ2』から3年程経っています。
本当に時の流れは早いですね……。

今回は初のオリジナル作品です。
原作の力を借りず、全て自分だけの力で作った作品が
どれだけの支持を得られるのか、
楽しみであり不安でもあります。

久々の漫画作品だった事もあり
途中でかなり加筆修正を加え
相当時間がかかってしまいましたが、
作品のクオリティが上がっていくのが感じられ
自身の成長を実感する事もできました。
次回作は更に良い物にできればと思っています。

次回作である第二章では『藤間アサヒ』が
ダーゲルの雌奴隷に墮とされます。
今の所は全三章の予定です。

シャインハーツ達の行く末はどうなるのか……？
このまま物語の最後までお付き合いいただければ幸いです。

それでは次回作もよろしくお願いします。

2024年10月6日 コーアン

pixiv→<https://www.pixiv.net/users/56162663>

ニジエ→<https://nijie.info/members.php?id=158345>

Ci-en→<https://ci-en.dlsite.com/creator/7151>

連絡先: isyuuki@icloud.com